

ペア・リング・キャッチ



向い合った2人が3つ以上のリングをまとめて投げ合い、トータルでいくつのリングをキャッチできるか、少人数で楽しめる種目です。2人の距離は、お互いの両手を大きく広げた距離の長さなので、子ども同士であれば距離は狭く、大人であれば広くなるので、異年齢の対抗戦も楽しめます。2005年度より新ルールで実施します。

★人数

1チーム2人

★隊形

2人はニュートラルゾーンをはさんで向かい合う。どちらか一方がリングを3つ以上持つ。

★用具

CG推進本部公認ゴム製リング3本以上（直径16.5cm、太さ3cmの円形で赤または黄色）

★ルール

競技者がお互いに握手をする。2人が握手したまま両手を広げた間隔の距離を測りラインを引く。これがニュートラルゾーンとなる。

審判の合図とともにAは3つ以上のリングをまとめてBに向かって投げる。投げる時はリングを横に東ね4指を伸ばし、必ずリングの中に入れて状態で投げる。Bはそれをできるだけたくさんキャッチする。キャッチできたリングの数がカウントされる。

続いて今度はBが、キャッチに失敗して落としたリングをすばやく拾い（Aも拾うことも可）、ニュートラルゾーンの外側に出てAに投げる（全部キャッチできていた場合はそのまますぐ投げる）。Aはそれをできるだけたくさんキャッチする。この時キャッチできたリングの数を、先ほどBがキャッチした数に加える。

競技時間は2分間とする。ただし、リングを5個以上で実施する場合は、競技時間が過ぎても、キャッチミスせずに続けている場合は競技を続行できる。この場合、キャッチミスまたはアウトとなった時点で競技終了となる。

●アウト

ニュートラルゾーンの内側でスローイング、キャッチした場合（ラインを踏むのも不可）。

定められた持ち方以外でリングを投げた場合。

リングを地面につけた状態でキャッチングした時。

競技時間の間で、投げるリングの数を変更した場合。